学校給食で全国大会「入賞」
～全国学校給食甲子園 決勝大会～

12月8日、第14回全国学校給食甲子園が東京都で開催され、垂水市立学校給食センターが入賞の成績を収めました。本大会は、食育の啓発と地産地消の奨励を目的に、日頃から提供している給食を競うものです。全国1,447団体が参加し、同センターは、九州・沖縄ブロック代表として決勝大会に進出しました。今回は、特産の豚肉をメインにふくれ菓子などの郷土色豊かな献立で大会に臨みました。また、同センターは、鹿児島県の学校給食表彰において、今年度、県下で最も優良な調理場にも選ばれました。

大隅地区漁業士会
捌き方講座

12月4日、垂水高等学校生活デザイン科の2年生29人を対象に大隅地区漁業士（本市出身3人を含む）をはじめ5人が講師として同校を訪れ、魚の捌き方講座を行いました。これは生産量日本一である養殖カンパチ・ブリの食べ方や魚のさばき方を知ってもらうことで、魚食普及の推進を目的に行われているものです。普段、魚を捌く機会が無く、不安そうにしている生徒たちもいましたが、講師の方々の指導により、回数を重ねるたびにきれいに魚をさばくことができるようになりました。

垂水市漁協養殖業者会
「海の桜勘」福祉施設へ

12月11日、垂水市漁協養殖業者会が市内4カ所の福祉施設（コスモス苑、華厳園、恵光園、城山学園）を訪問し、同漁協ブランドカンパチ「海の桜勘」を贈呈しました。これは同会の年末恒例の取組で、地元で育った魚を食べて、良い年末を迎えてほしいという思いから行われています。施設利用者の皆さんはカンパチを受け取り、大変喜ばれていました。

極真空手垂水道場
ドランゴンカップで活躍

12月8日、極真空手垂水道場が第23回ドラゴンカップ西日本空手道選手権大会で優秀な成績を収めました。中村選手と堂脇選手は、3月に千葉県での国際大会に出場が決まりました。

◎大会成績（敬称略）

■一般男子35歳以上／組手・初級　準優勝　前田康晴
■小学4年男子チャンピオンクラス／組手・軽量級
準優勝　中村哲捷（桜峰小4年）
■小学4年女子ソフトクラス／組手
優勝　堂脇桜（垂水小4年）
■小学2年男子チャンピオンクラス／組手・軽量級
優勝　堂脇謙心（垂水小2年）
■小学1年男子チャンピオンクラス／組手・軽量級
準優勝　園田瑛大（協和小1年）

地域で楽しく語り合う
水之上生活笑楽校（しょうがっこう）

12月8日、第8回水之上生活笑楽校が水之上地区公民館で開催されました。これは、水之上地区でまちづくりを推進する「三和づくり計画」の取組として毎年実施されているものです。当日は、約50人が参加し、手打ちそばや男性料理教室で作ったコロッケなど、持ち寄った手料理を食べながら今後の水之上について語り合い、参加者同士で交流を深めました。

戦時中の焼夷弾（しょういだん）が地中から

中央町のある住宅解体作業中に、地中から戦時中の焼夷弾が発見されました。今回発見された焼夷弾は、爆発の危険はなく、鉄製の長さ約40cm、断面は六角形のものです。戦時中の記録によると、昭和20（1945）年8月5日に市内中央部は米軍機の空襲により、焼夷弾が無数に投下されて焼け野原となりました。この焼夷弾はその時のものと思われます。2月1日に開催された市立図書館での「第六垂水丸遭難事故を語りつぐ会」でも展示されました。